

『18歳を市民に』

高生研



# 第60回全国大会 2022 沖縄大会

会期・会場

2022年7月30日(土)～8月1日(月)  
沖縄県男女共同参画センター【ているる】  
および 那覇高校

大会テーマ

『当事者が呼び込まれる相互応答の世界をたちあげる』

日程 7/30 沖縄県男女共同参画センター【ているる】、7/31・8/1 那覇高校

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
7月 30日 土			受付 11:00～	全生研 合同 開会行事 12:00～ 12:45	高生研全体会① (開会行事・基調討論) 13:00～15:30			沖縄 シンポジウム (上間陽子さん+) 15:45～17:15	高生研 全体会② (基調討論) 17:30～ 18:30				
31日 日	受付	一般分科会 9:00～12:30		屋食 12:30～13:30	一般分科会・問題別分科会 13:30～17:00					総会 18:00～19:30			
8月 1日 月	受付	一般分科会・問題別分科会 9:00～12:00		別れの 集い 12:15～ 12:45	13:00～ オプションツアー								

全体会 (開会行事・基調討論 7月30日(土) ①13:00～15:30、②17:30～18:30)

高生研 2022 沖縄大会 基調発題 『出来事が起きる共通の世界を呼び込む』

発題者 相良武紀

「ているる」会議室、70名収容

『環くんと1年1組(前・後編)』(『高校生活指導』212号2021年)の続編である。発題の主たる目的は、当日も参加する、この実践の当事者の今なお続く挑戦に応えることにある。この実践は環くんが筋ジストロフィーを患っているから生まれたわけではない。他多くの高校生と同じように、「他者の影響による囚われ」に環くんも悩まされていた。そんな生徒にどう応えていくことができるのか。コロナによってさらなる影響を被る実践課題への応答として、出来事が起きる共通の世界を誘い込む関わりを発題する。

後援: 沖縄県教育委員会

主催: 全国高校生活指導研究協議会

## 沖縄シンポジウム

「分断を乗り越えるためにお互いの声を聴きあう」

「ているる」ホール、480名収容

＜全生研・高生研共同大会開催企画＞ 7月30日（土）（15：45～17：15）

大会初日、上間陽子さん（琉球大学教授）を迎えてのシンポジウムを行います。上間さんは教鞭を執りながら、壮絶で理不尽な生活環境の中で生きていかなければならない少女（女性）たちに寄り添って聞き取りを続けています。そして、出産した彼女たちや赤ちゃんを優しく包み込む安全な居場所を（ほぼ）手弁当で作りました（NHK『ハートネットTVでも放映』）。上間さんの人柄に触れて、話しを聞く貴重な機会です。ぜひご参加ください。※会場では対面参加（全生研の参加者と一緒）のほかZoomによる配信も予定しています。

□ 一般分科会 7月31日（日） 9:00～12:30

会場：那覇高校

### 1 【HR】 学ぶなかで変わっていく生徒たち

佐藤岬平（大阪）

勉強や生活に様々な「しんどさ」を抱える生徒たち。「学ぶクラス」にしたいという思いから、毎日放課後学習会を実践。こうして、学校の大きな特色「学ぶ文化祭」のなかで、「冤罪」をテーマにした学習発表の取り組みがはじまる。学習を柱にすえたHR集団作りの、1年間の実践記録。

### 2 【授業】 出合いを共に拓き深めていく

内藤 美紀（東京）

私は何を伝えたいか、相手は何を知りたいかが当事者の間に存在して初めてコミュニケーションの土台が育まれる。必修英語1の枠組みの中で、まずは「クラスメートを知る」ところから「インドネシア高校生と出会う」につなげ「イスラム教徒の卒業生と出会う」機会を通じて、それまでのコミュニケーションへの姿勢を集団的に超えていった過程を紹介していく。

### 3 【HR】 傷つきを抱える生徒の心をひらくために—一定時制での一年間—

オンライン報告 武田慎之介（埼玉）

様々な事情や課題を持つ生徒が集まる定時制高校。感情をコントロールできずに暴れ出すK、自分の行動を顧みられないM、教室に入れずに進級危機のN。武田や他の教員との対話を通じて、どのように生徒が成長していったか。激動の1年間の報告。

□ 一般分科会、問題別分科会 7月31日（日） 13:30～17:00

会場：那覇高校

### 4 【HR】 ビンテージにしよう～傷さえ愛しいというキセキへ～

中岡 悠（沖縄）

コロナ禍で、ディスタンスを強いられてきた生徒達。行事は中止。ぶつかり合う機会さえ無い。表面上「きれい」に「問題なく」過ごしてきたけれど、それって寂しくない？互いに本音で関わり、そこでできた傷もビンテージ（希少価値）にできる、そんなクラスを目指した3年生のHR実践。

### 5 【HR・文化祭】 スポーツコースに文化を！ 木の香り青春漂うコースター

十時大央（大阪）

クラスよりクラブに所属し、担任より顧問に慕い従う。担任は連絡係に過ぎず、終礼や行事よりクラブを優先するべきだという雰囲気と自分の描くクラスづくりとのジレンマに苦悩する担任。私学スポーツコースの風潮に真っ向からあらがった29人の生徒と1人の担任の文化祭実践を報告する。

**6 問題別 なぜ教育実践記録を書くのか、どう書けばよいのか、どう読めばよいのか**  
白石陽一（熊本）

日本全国の教師は、これまで膨大な教育実践記録を書いてきたし、高生研でも実践記録をとっても大切に扱ってきた。だが、なぜ実践記録を書くのか、どう書けばよいのか、どう読めばよいのか、については、必ずしも共通の理解はないようである。せつかく苦勞して書いた記録をどう生かすのか、具体的な問題提起をしてみたい。

□ 一般分科会、問題別分科会 8月1日（月）9:00～12:00

会場：那覇高校

**7 [総合的な探究]**

「総合で社会課題（18歳を市民）に挑戦—総合的な探究の時間の先取り—」

杉浦真理（京都）

「総合的な探究の時間」について、立命館宇治のコア探究Ⅲでの社会課題（子ども食堂、フードロスなど）テーマに取り組んだ内容を共有し、その成果を伝える分科会。生徒の力はどのように引き出せるのかを、生徒当事者の参加も交えて考察する。

**8 問題別 HR活動をつくろう**

久田晴生（愛知・大同大学）

大学4年の教職科目の授業で、学生たちが企画・運営した「HR活動」。終了後の充実感・達成感はないものだった。成功の決め手は「合意づくり」という極めて当たり前のこと。それをどうなしたのか。大学の授業という特殊な環境下で行ったものではあるが、高校のHR活動にどう応用できるか、議論したい。

**9 問題別 関係性の深化という視点から生活指導実践を見直す**

内田 理（埼玉）

生活指導実践を進めてゆく上で必要な視点はいろいろあるが、「関係性を深化させる」という視点からいくつかの提起をして、実践の課題を参加者ともに探る分科会。これまで、HRづくりとか、集団づくりという言葉がよく使われてきたが、実践課題をよりとらえやすくする試みとして、この視点から参加者とともに議論したい。

**<オプションツアーについて>**

（それぞれ事前の申込（Formsから）が必要、定員になり次第、受け付け終了となります）

- ① 「辺野古を学ぶ・辺野古で学ぶ・辺野古から学ぶ（仮）」：  
観光バスで辺野古へ移動し、基地移設容認派と反対派双方の立場の意見を聞いて学ぶ学習の場とする。 （定員 100名）
- ② 「普天間で生きるということ（仮）」：  
観光バスで嘉数高台（普天間飛行場が見渡せる）へ移動し、周辺で生活している方々や子どもが通う保育園の保護者の方々から話し（これまでの被害状況やそれに対抗するための活動等）を聞いて学ぶ学習の場とする。 （定員 50名）

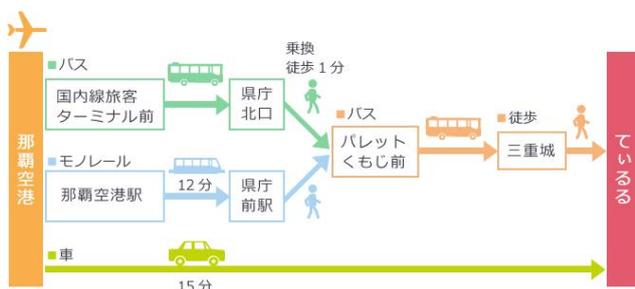
## <高生研大会会場周辺アクセス>

### 沖縄県男女共同参画センター【ていりる】

〒900-0036 沖縄県那覇市西 3-11-1 TEL:098-866-9090 (代) FAX:098-866-9088



#### ■バスでお越しの方



【国内線旅客ターミナル前▶県庁北口】 ⇒

那覇交通 市外線【25番】

沖縄バス・琉球バス【市外線：45番】

【パレットくもじ前▶三重城】

那覇交通市内線【1番・2番・5番・15番】

市外線【45番】

### 沖縄県立那覇高校

〒900-0014 沖縄県那覇市松尾 1-21-44

電話 (098) 867-1623 FAX (098) 866-7753



那覇空港から那覇高校までは  
高速バス、路線バス、ゆいレール等を  
乗り継いで30分程度。

料金は片道500円前後です。

タクシーでは2000円ほどです。



## <参加案内>

参加費 全日程(3日)参加 4,000円

2日参加 3,000円

1日参加 2,000円

高生研会員(※会員会費還元により1~3日参加一律) 2,000円

学生・保護者 1,000円(ただし大会実行委員として参加した場合は無料)

オンライン参加※ 1,000円

※オンライン参加の場合、紀要はPDFファイルをダウンロードして参加して頂きます。それぞれの全体会、沖縄シンポジウム、分科会・総会は、Zoomを使用してハイブリッド方式で運営します。

全生研の分科会に参加する場合  
全生研紀要代2000円が必要。

申込み方法 「高生研全国大会2022 沖縄大会参加申込フォーム」(<https://kouseiken.jp/Taikai/>)  
からお願いします。下記QRコードから簡単にアクセスできます。申込締切7月20日

宿泊 各自でお取り下さい。会場近くには多くの宿泊施設がありますが、予約はお早めをお願いします。

## <大会に関する最新の情報・問い合わせ>

「高生研大会プログー18歳を市民にー」

<https://kouseiken.jp/Taikai/>

安藤誠也 (高生研大会グループチーフ)

e-mail: dodoan7@gmail.com

